

病院概要

- 開設者名 新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 末武 雅之
- 病院長名 横口 清博
- 標榜診療科目 内科、外科（消化器・一般）、呼吸器・心臓血管外科、産婦人科、小児科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科、神経精神科、放射線科、歯科
- 使用許可病床数

一般	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	261床	220.2人
- 一日平均外来患者数 698.3人 ■医師数 常勤 34人 非常勤 7.29人
- 年間手術件数 1,275件 ■年間出産件数 182件
- 病院併設施設 介護老人保健施設なでしこ、健康センターすこやか、訪問看護ステーション
- 救急告示病院の指定 有
- 学会指定施設の状況 日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本外科学会、日本整形外科学会、日本脳外科学会、日本眼科学会、日本麻酔科学会、日本内科学会、日本がん治療認定医機構、日本消化器外科学会、日本透析医学会、日本消化器内視鏡学会、日本乳癌学会



医学生の皆様へ



something of everything / everything of something

若い人が学問を習得していく時の順序を示す英國のことわざです。明治時代に新渡戸稻造が教育論として引用していますが、現在の医師臨床研修にぴったりの言葉です。僕は何々の専門だから風邪の患者は診れませんなどということのないように、まずは広い範囲の領域でポイントを多く学び、その上で専門領域の全てに精通する医師になりましょう。たとえば外科研修について考えてみます。多くの場合、ヘルニアやアッペの手術を多くこなして、それで良い研修だったということになります。しかしこのような研修は外科医になるつもりの研修医以外にはあまり意味をもちません。当院の外科では患者の診察、バイタルサインから可能な限りの情報を一人で得るようになるためのトレーニングをおこなっています。どの診療科にいてからも役に立つ感染症治療の徹底した考え方、患者の全身状態を把握するための事前の検討会、入院患者の80%以上が持つなんらかの合併症（心、高血圧、糖尿病、など）の取り扱い。その上でぎりぎりどこまで、大きな侵襲となる手術が可能か見極める。これらは医師としての生涯にわたって有用な知識、技術です。

ER、検討会、レクチャー、院外研修やアメリカ人医師を含めた院外のサポーターの存在は、このような広範で基本的な知識を深く知るための力強い味方です。専門医すなわちeverything of somethingをあやつる専門医になる前に、something of everythingを身につけましょう。わたしたちはそのためのシステムを創り続けています。

研修医教育

- 【沖縄研修】臨床研修病院群プロジェクト群星沖縄、沖縄県立中部病院 7日間
- 【ネイティブによる英会話教室】火・木 【医局レクチャー】毎週火曜日8時～
- 【居酒屋勉強会】月1回ほど、不定期 【救急検討会】毎週木曜日8時～、毎週金曜日9時～
- 【院外サポーターによる教育行事】入江聰五郎先生、Gautam Deshpande先生 など



院外講師による教育回診



CPVSコース

Access



- JR北陸新幹線 糸魚川駅下車
- JR大糸線 糸魚川駅下車
- えちごトキめき鉄道日本海ひすいライン 糸魚川駅下車
- バス20分 糸魚川総合病院行

照会先
総務課 石坂 裕美
TEL 025-552-0280 FAX 025-552-3819
E-mail somu4@itoigawa-hp.jp

病院見学の受入 随時
申込方法 郵送、メール、電話にて受付

研修概要

研修プログラムの目的と特徴（平成30年度研修医）

目的

救急を含めた一般臨床能力を身につける事を目的にしています。特に問診、バイタルサイン、視触診等を重視しています。

研修パターン

ER+専門医/地域医療プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次			内科（6ヶ月）			救急（2ヶ月）	整形（2ヶ月）					
							ER					
2年次	小児科（2ヶ月）	産婦人科（2ヶ月）	地域医療				選択（7ヶ月）					

【必修科】 内科6ヶ月/救急2ヶ月/地域1ヶ月

【病院必修科】 整形外科2ヶ月/外科2ヶ月/小児科2ヶ月/産婦人科2ヶ月

【選択】 院内・院外から7ヶ月選択

【教育】 総合診療医による教育目的の外来が行われています。1症例に対して1～2時間の診療を行い、実力をつける機会です。 (国立病院機構大阪医療センター総合診療医)



松本謙太郎先生
(国立病院機構大阪医療センター
総合診療医)

勤務体制 勤務時間 日直：8:30～17:00

当直：17:00～ 8:30

(1週間に午前又は午後のER研修2回)

研修医当直 回数 (月平均) 2回/月

当直時の勤務体制 (研修医以外の当直医数) 1人

(当直研修医数) 1人

研修1年目では、原則としてファーストタッチは研修医が行う。指導医が当直の際に一緒に当直し、救急患者の診療について学ぶ。

研修医の学習環境

居室 専用の研修医室 有

図書・文献 医局図書室は24時間利用可能
国内図書 約500冊 国外図書 約400冊
国内雑誌 約25種類 国外雑誌 17種類
医中誌Web利用可能

インターネット環境 有

研修の宿舎の有無など

宿舎 民間アパートを病院で借り上げ提供

食事 院内に食堂、コンビニ有



THE RESIDENT CIRCLE 不識庵

厚生連上越総合病院・新潟県立中央病院・新潟労災病院・厚生連糸魚川総合病院・柏崎医療センター

5病院は相互に協力型病院になっています。また院外サポーターによる教育事業など協同で開催しており、多くの研修医が集まって勉強しています。

研修医の待遇 (平成30年度研修医)

1年次月額	基本給	400,000円
	当直手当	20,000円
	臨床研修医特別手当	40,000円
	時間外研修手当	50,000円
	月額平均	計： 510,000円
	賞与	月額手当で支給

2年次月額	基本給	430,000円
	当直手当	40,000円
	臨床研修医特別手当	40,000円
	時間外研修手当	60,000円
	月額平均	計： 570,000円
	賞与	月額手当で支給

年額10万円以内の個人研修費があります。学会出張等に利用できます。